



食品ロス削減に取り組もう①

■問合せ…生活環境課 (☎025-526-5111、内線1020-4118)

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。先進国の中で食料自給率が低い日本では、食糧を「大量に輸入」し、「大量に廃棄」していることが問題となっており、令和3年には、全国で523万t、うち家庭から出る食品ロス量は244万tと推計されています。

上越市では、家庭から年間1,567tの食品ロスが発生していると推計され、これは1人1日当たり23gに相当します。全国平均が53gですので、比べると優秀ではありますが、まだまだ取り組めることがあります。食品ロス削減に向けて、できることから取り組んでみましょう！



今日からできる！ 食品ロス削減チャレンジ！（10月は食品ロス削減月間です）

●買い物

- ①出かける前に冷蔵庫の中身を確認する
- ②使う分、食べきれない分だけ買う



POINT 必要な分だけ買って、食べきる！

●保存

- ①食材に応じて適切に保存する
- ②食材を上手に使い切る



POINT 作りすぎたらリメイクレシピ！

●外食

- ①外食時は食べきれない量を注文する
- ②宴会では席に座って料理を味わう・食べきる時間を作る



POINT おいしく残さず食べきろう！

最終処分場基本構想のあらまし②

■基本方針

「エコパークいずもざき」での経験を活かし、公共関与の施設として、県内産業の持続的な発展、産業廃棄物の適正処理および地域の振興に貢献する安全・安心な施設を目指します。

(1)安全・安心な施設づくり

- 安全を最優先に、集中豪雨や地震なども考慮した施設設計を行います。
- 大気や水環境の汚染防止はもとより、周辺環境との調和にも努めます。
- 最新の知見や技術も踏まえ、安全性と経済合理性の両立を目指します。

(2)信頼される維持管理

- 廃棄物の受入審査を徹底し、安全で計画的に埋め立てを行います。
- 地元との環境協定に基づき、浸出水の確実な処理と環境モニタリングを行い、積極的な情報公開に努めます。
- 施設見学を積極的に受け入れるなど、開かれた施設となるよう努めます。

(3)地域への貢献

- 地元からの雇用や調達に配慮します。
- 上越市と連携して地域の振興を支援します。
- 埋立完了後の跡地利用については、地元の意向を十分に考慮します。

管理型最終処分場のイメージ



遮水工

出典：NPO法人最終処分場技術システム研究協会「最終処分場のいろは」



新潟県ホームページ

整備に関する問合せ…新潟県環境局資源循環推進課 (☎025-280-5161)、上越分室 (☎025-520-7859) (公財)新潟県環境保全事業団 上越オフィス (☎025-520-7853)

記事に関する問合せ…生活環境課 (☎025-520-2088)

原子力災害に備えて

■問合せ…市民安全課 原子力防災対策室 (☎025-520-5663)

新潟県原子力防災訓練が行われます

当市では、UPZ（柏崎刈羽原子力発電所からおおむね5～30km圏内）にお住まいの皆さんを対象に次のとおり訓練を行います。

▶と き

10月29日@午前8時30分～9時30分（予定）※訓練③～⑤は午後1時頃まで（予定）

▶対象地域

柿崎区と吉川区の全町内会、大潟区雁子浜・内雁子町内会、大島区板山・田麦・竹平・藤尾町内会、浦川原区小麦平町内会

▶訓練内容

- ①屋内退避訓練 ②広報活動訓練 ③安定ヨウ素剤緊急配布訓練
 - ④バスなどによる避難経路所・避難所までの一時移転訓練 ⑤スクリーニングおよび簡易除染訓練
- ※③～⑤は柿崎区、吉川区、大潟区、大島区の一部町内会が対象

訓練の対象地域外の皆さんも、万が一の際に取るべき行動を確認しましょう。

原子力災害から身を守る4つの行動

①正確な情報の入手

テレビ、ラジオ、防災行政無線などで市（国・県含む）の発信する正確な情報を入手します。



②まずは屋内退避

市から「屋内退避指示」が出たら、建物内に避難します。屋内退避によって、放射性物質の付着や吸入を防ぐことができます。



③屋内退避の継続

「屋内退避指示」の解除や「避難指示」が出るまでは屋内退避を継続します。「屋内退避指示」が出ている間は、むやみに外出しないようにします。



④避難指示が出たら避難

測定した空間放射線量が高い区域には「避難指示」が出ます。避難対象の区域にお住まいの皆さんは市の指示に従い行動します。



原子力防災に関する市の取り組み

市では、原子力災害時に市民の皆さんが取るべき行動や原子力災害への備えについてまとめた原子力防災ガイドブックや動画の制作、出前講座などを行っています。

また、原子力災害時に市民の皆さんが安全に避難できるよう、引き続き、国、県、関係市町村などと共に広域避難などの課題解決を進めながら、実効性のある避難体制の整備に向けて取り組んでいきます。

防災一口メモ 安定ヨウ素剤の事前配布

安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを抑える効果のある医療用の医薬品です。原子力災害が発生した場合は、必要に応じて一時集合場所やスクリーニングポイントで緊急配布を行います。新潟県では、近年頻発する豪雪などの地域事情を考慮して、UPZにお住まいで下記のいずれかに該当する人への事前配布を進めています。

- 40歳未満の人
- 40歳以上の妊婦・授乳婦・妊娠希望のある女性
- 40歳以上で安定ヨウ素剤の受け取りを希望する人



※本号と併せて配布した原子力防災ガイドブックおよび概要版もご覧ください。また、令和5年3月に改定した「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」や普及啓発動画は、市ホームページでご覧いただけます。



屋内退避避難計画



普及啓発動画



第98回 謙信公祭

上杉謙信公の武勇と遺徳を讃え偲ぶ「謙信公祭」が春日山周辺で開催されました。4年ぶりとなった大民踊流しでは、開催を心待ちにしていた市民の笑顔であふれていました。猛暑により、出陣行列はあいにく中止となりましたが、川中島合戦の再現では市民をはじめとした出演者が熱演し、謙信公役を努めた横田聖さんの堂々たる勝鬨で幕を閉じました。(8/18~20)



～みんなでつながろう～ なおえつ うみまちアート2023

「アートで直江津を元気に」をコンセプトに、市民によるアートイベントが開催されました。来場者はスタンプラリーで各会場を巡るほか、作品やワークショップを通じて、「アート」で彩られた夏の直江津を楽しみました。(8/19~9/10)



第19回中郷区体育祭 「さとまるスポーツクラブ体験会」

中郷区の総合型地域スポーツクラブ「さとまるスポーツクラブ」の加盟団体による、各種目の体験会が行われました。来場者は、経験したことのないスポーツに苦戦しつつも、爽やかな汗を流して楽しみました。(8/27)



薬師山道 ブナの森美術館

大島区「薬師岳」の山頂付近に美術作品を展示する「ブナの森美術館」が開催されています。訪れた登山者は、豊かなブナの原生林の中、芸術作品を楽しんでいました。(9/3~9/30)

新型コロナ ワクチン 令和5年秋開始接種を実施します

■問合せ…上越市新型コロナワクチンコールセンター (☎025-520-8870)

！ 掲載情報は、9月12日時点の情報です。ワクチンの供給状況などにより、予定を変更する場合があります。最新情報は、市ホームページをご確認ください▶



対象者	年齢	接種券	接種回数	使用ワクチン
初回接種を完了し、前回の接種から3カ月経過した生後6カ月以上の人	65歳以上の人	市から順次発送(申請不要)	1回	ファイザー社製オミクロンXBB.1.5対応ワクチン(供給状況により変更する場合あり)※生後6カ月~4歳は乳幼児用ワクチン、5~11歳は小児用ワクチンを使用
	生後6カ月~64歳以下の人	接種を希望する人は接種券の発行申請が必要		

●接種券の発行申請(生後6カ月~64歳以下の人、転入した人など)

▶申請方法…申請書を新型コロナウイルスワクチン接種事務室(☎025-520-5711)または各総合事務所、南・北出張所に提出。10月1日からは「上越市電子申請システム」でも申請可能。※発行には1週間程度かかります。

▶必要書類…本人確認書類(運転免許証、保険証など)、接種済証(転入者のみ)など



発行申請

●接種方法

①個別接種

年齢	予約開始日	接種開始日	接種終了日	接種場所	予約方法
12歳以上	9月27日	10月2日	令和6年3月31日	医療機関※	予約システム▶ または医療機関へ直接予約
5~11歳		10月10日			
生後6カ月~4歳					



予約システム

※接種可能な医療機関の一覧表は接種券と併せて送付します。

②集団接種(16歳以上の人を対象)

10月21日から実施します。詳しくは、接種券と併せて送付するお知らせをご確認ください。

上越市のきらりと光る風景を発信しよう!

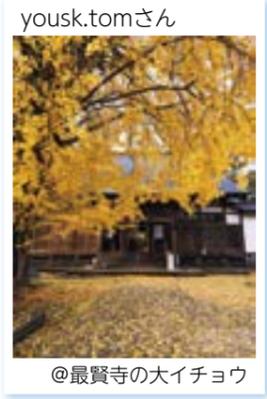
Instagram(インスタグラム)で「#上越もよう」を付けて、市のまちなみ、自然、歴史、食などの写真を投稿しませんか。

■問合せ…魅力創造課(☎025-520-5740)

これまでの「#上越もよう」の投稿作品の中から紹介しています。



その他の作品はこちら



@最賢寺の大イチョウ



@上越清里星のふるさと館



@関川河川敷のコスモス



@安塚区のヤナギバヒマワリ



@春日山神社